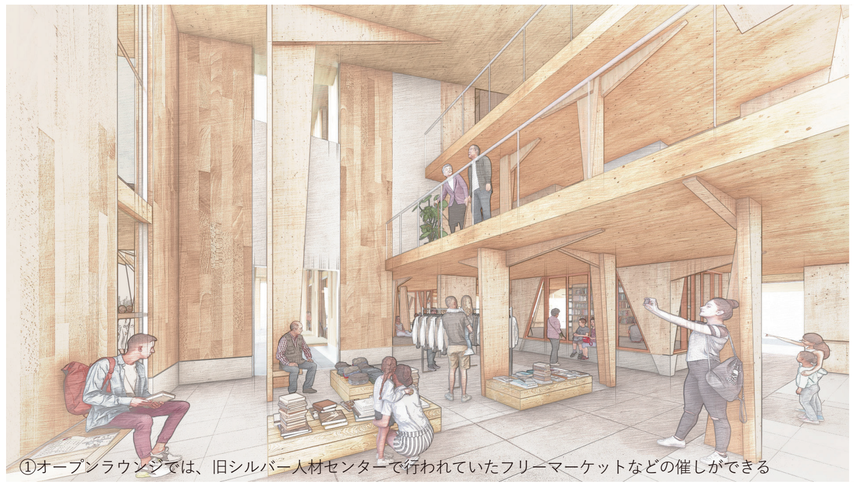
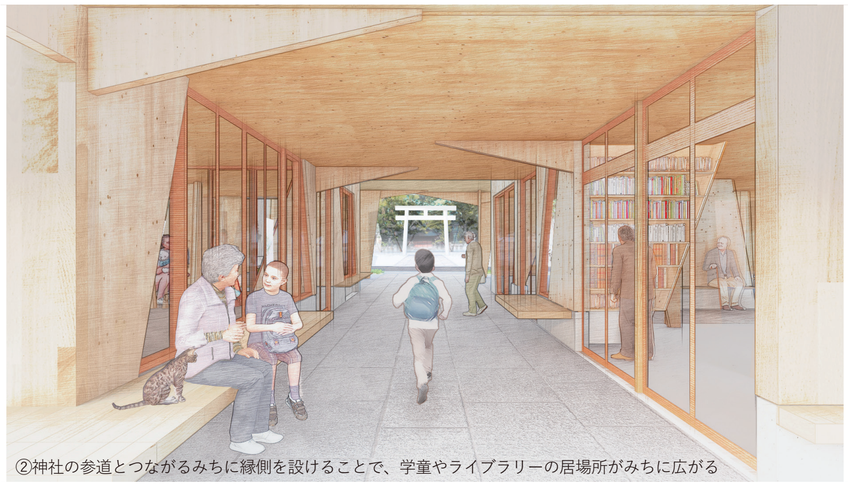


①オープンラウンジでは、旧シルバー人材センターで行われていたフリーマーケットなどの催しができる

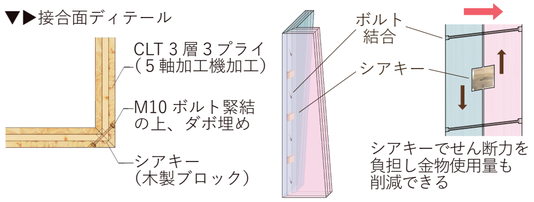


②神社の参道とつながるみちに縁側を設けることで、学童やライブラリーの居場所がみちに広がる

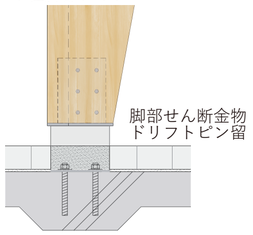
③北側前面の庇では、ブランチコラムを拠り所にして、出張朝市を迎えることができる

ブランチコラム 構法 - ディテール -

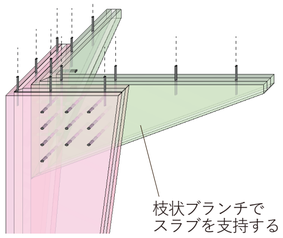
▼▶接合面ディテール



▼柱脚部ディテール



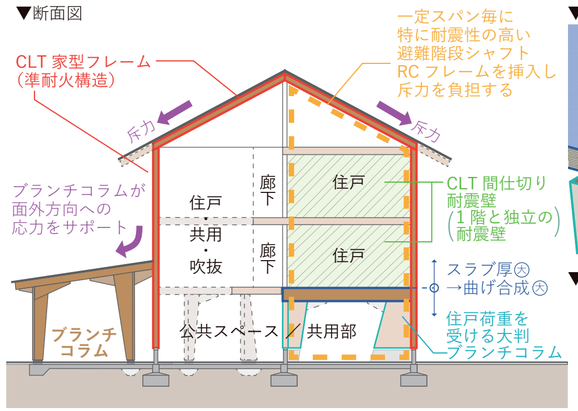
▼柱頭部ディテール



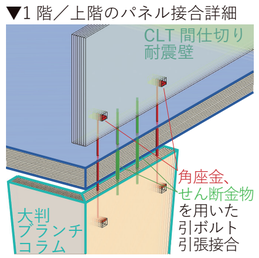
45° 切断加工された CLT パネル同士をボルトで結合する。接合面には堀込を設け、木製ブロックを**シアキーとして挿入し、せん断断形を抑制**する。柱頭部では**枝葉のように部材（枝状ブランチ）を架ける**ことで、CLT フラットスラブ・CLT 屋根板を直接支持し、応力を伝達する。

構造ダイアグラム - 家型フレームの斥力の分担／広々した基壇と細かく分節する上部構造 -

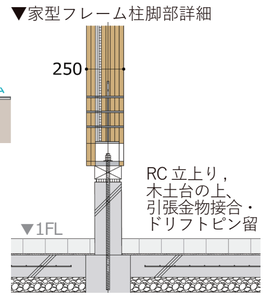
▼断面図



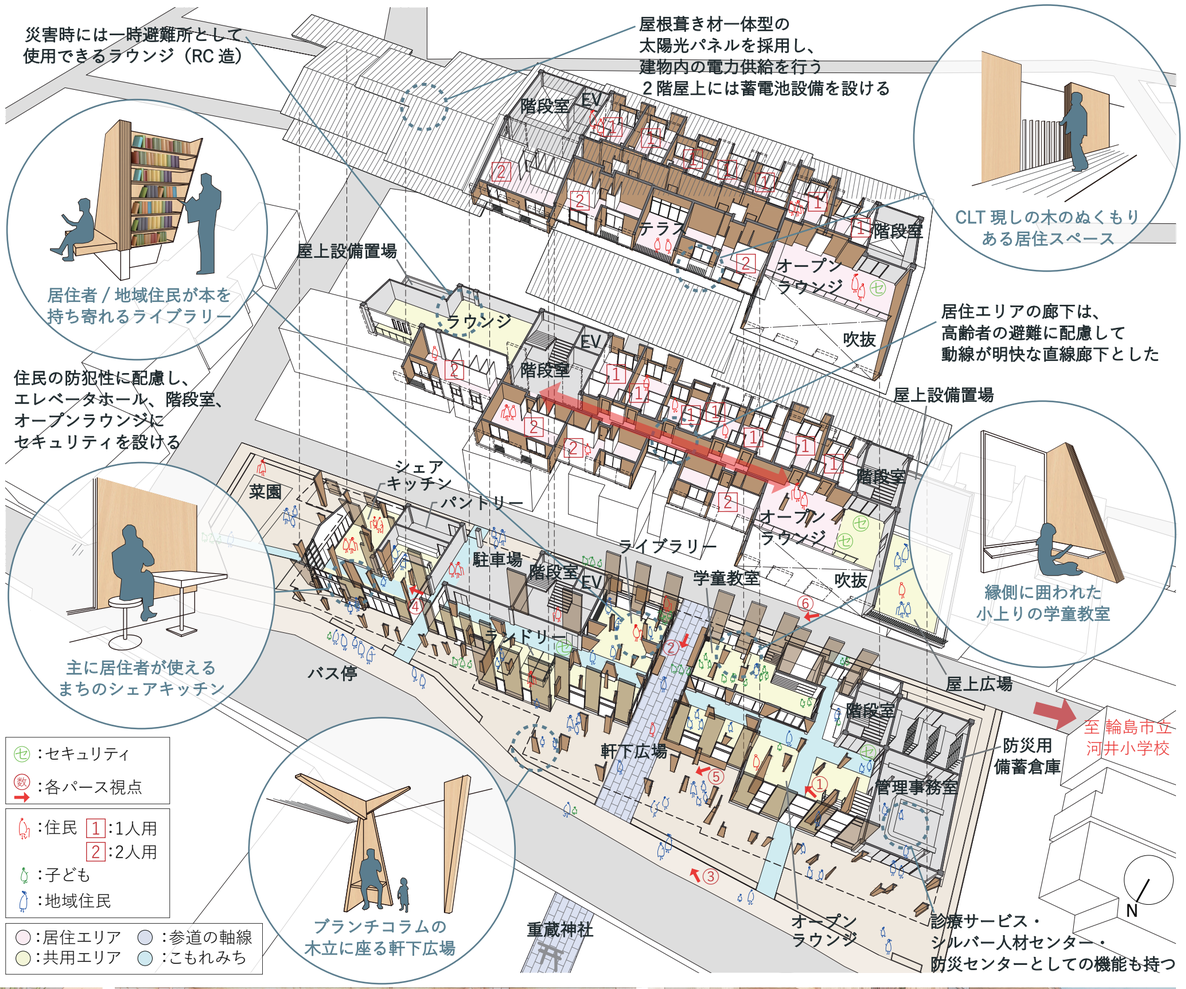
▼1 階／上階のパネル接合詳細



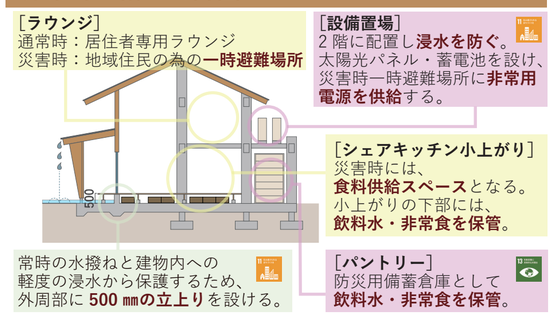
▼家型フレーム柱脚部詳細



周囲の街並みと馴染むように、CLT 大判で家型フレームを構成し、その面外方向への斥力に対して、避難階段シャフトの RC フレームや庇部分のブランチコラムが、**バットレスとして応力を分担**する構成としている。また、1 階を共用スペースとして柱を少なくすることと、2,3 階に住戸をまとめて、CLT 間仕切り壁で細かく分割することを両立させるために、2 階床 CLT スラブ厚を十分に確保し、曲げ剛性を高めることで、1 階と**独立して上階で耐力壁を形成**する計画としている。



非常時に備えた計画 - 安心・安全な暮らしの為に -

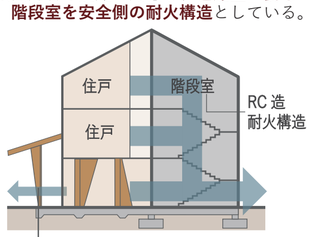


法規・耐火 -CLT を現しとするために／適材適所の計画 -

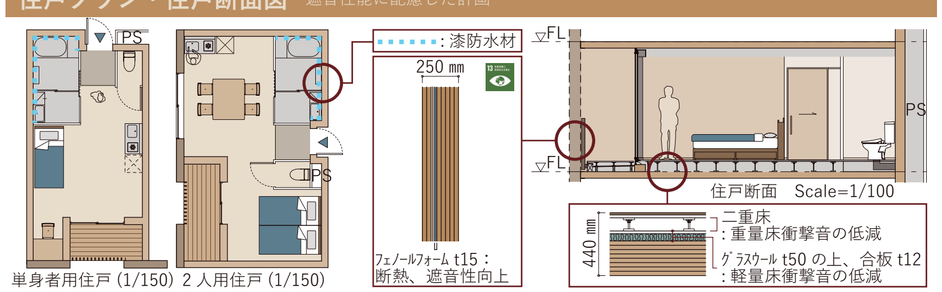
本建築物は 3 階建て共同住宅の **1 時間準耐火建築物**として設計しており、意匠的に CLT の家型フレームが強調される外観とするために、**燃えしろ設計による現しの部材構成**としている。
また、サブフレーム部分のブランチコラムの断面寸法は、外気に十分開放された屋外空間であることと、避難経路としては使用せず、避難上重要である階段シャフトを安全側の耐火構造（※）とすることから、**1 時間準耐火の仕様適用外の扱い**としている。
屋根裏、スラブ底面現し部は**準不燃クリア塗装**を施す。

外壁	GB t12.5+12.5/ 断熱材 t15/CLT + 燃えしろ両面 CLT t60
間仕切壁	遮音材 t15/CLT ＋燃えしろ両面 CLT t60
床	CLT / 燃えしろ片面 CLT t60
屋根	不燃性屋根葺き材 / 断熱材 t15/CLT+ 燃えしろ片面 CLT t30
ブランチコラム	［家型フレーム内部］構造 CLT+ 燃えしろ両面 CLTt60 ［屋外］構造 CLT 現し

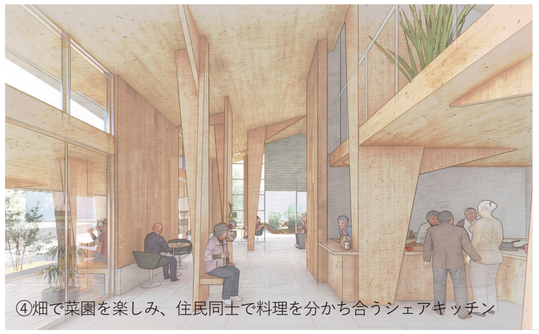
※高齢者の避難に配慮し、**避難上重要な階段室を安全側の耐火構造**としている。



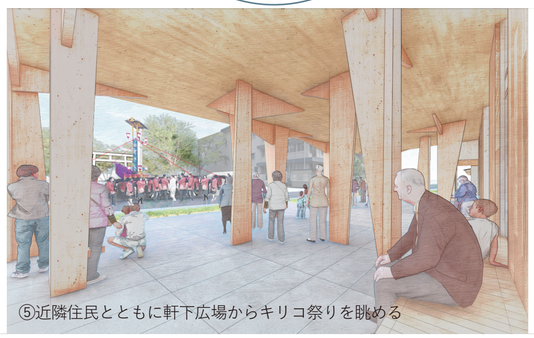
住戸プラン・住戸断面図 - 遮音性能に配慮した計画 -



単身者用住戸 (1/150)　2 人用住戸 (1/150)



④畑で菜園を楽しみ、住民同士で料理を分かち合うシェアキッチン



⑤近隣住民とともに軒下広場からキリコ祭りを眺める

⑥南側縁側スペースでは、住民が学校終わりの子供たちを迎え入れる